

# 平成29年度事業団報告書

## 事業団管理の概要

### 1. 理事会、監事会、評議員会等状況

- 平成29年 5月15日 八代市社会福祉事業団監事会を八代市立希望の里たいよう会議室で開き、監事（馬淵惺敬氏、増田等氏）による平成28年度事業、会計収支決算等の全般にわたる監査を実施し、事業団定款第32条に基づき監事の承認を受けた。
- 平成29年 6月 1日 第127回（平成29年度1回）理事会を八代市立希望の里たいよう会議室で開催し、平成28年度事業報告・会計収支決算等の審議を行い、監事監査報告のうえ事業団定款第24条に基づき理事会の認定を受けた。また、事業団定時評議員会の招集、事業団新役員候補者の選任、事業団諸規程の改正について審議を行い、理事会の承認を受けた。報告事項として利益相反行為及び双方代理となる事項について報告し理事会の承認を受けた。
- 平成29年 6月21日 第7回（平成29年度1回）定時評議員会を八代市立希望の里たいよう会議室で開催し、平成28年度事業報告・会計収支決算等の審議を行い、監事監査報告のうえ、評議員会の認定を受けた。また、事業団理事の選任、事業団監事の選任、役員、評議員等に対する費用弁償に関する規程の制定について審議を行い、評議員会の承認を受けた。
- 平成29年 6月22日 第128回（平成29年度2回）理事会を八代市立希望の里たいよう会議室で開催し、事業団定款第16条第2項に基づき、理事長として中村博生氏、副理事長として山田忍氏の選任を行った。また、報告事項として八代市特別避難所の指定について報告し理事会の承認を受けた。
- 平成29年 6月27日 平成28年度資産総額の変更及び代表理事の重任登記について組合等登記令第3条第1項及び第3項に基づき法務局への登記手続を完了した。（平成29年8月7日完了）
- 平成29年12月25日 第129回（平成29年度3回）理事会を八代市立希望の里たいよう会議室で開催し、平成29年度会計収支補正予算、事業団諸規程の改正について審議を行い、理事会の承認を受けた。また、報告事項として理事長職務執行状況報告、交通事故に伴う職員懲戒処分、保寿寮雨漏れに関する今後の対策について報告し理事会の承認を受けた。
- 平成30年 3月15日 第130回（平成29年度4回）理事会を八代市立希望の里たいよう会議室で開催し、平成29年度会計収支補正予算、平成30年度事業計画・当初予算、利益相反行為及び双方代理となる事項、事業団諸規程の改正について審議を行い、理事会の承認を受けた。また、報告事項として理事長職務執行状況報告、利益相反行為及び双方代理となる事項について報告し理事会の承認を受けた。

### 2. 経営計画

- ・本年度も財政改革に取組み、事務費事業費経費等の削減を実施し、将来に向けて安定経営が出来るよう各施設の運転資金等の財源確保に努めた。
- ・本年度は、八代市立希望の里たいよう（障がい福祉サービス事業）の指定管理者と保寿寮（養護老人ホーム）と八代市のぞみ母子センター（障害児通所支援事業）と相談支援事業所たいよう（相談支援事業）を自主事業、また、保寿寮（高齢者短期入所事業）八代市のぞみ母子センター（八代圏域地域療育センター事業）の事業の受託事業として、利用者に対して質の高い福祉サービスを提供し、安全で安心して利用できるような施設管理運営に努め、特に職員の意識改革を図った。
- 法人、施設経営への参画意識を高める  
財政面においては大変厳しい状況下にあることを職員一人一人が認識し、施設等の基準収入（措置費、給付費）、受託収入、法人独自の自主事業収入を基本とし、事業経費の効率的な運用を行った。
- 人材の育成  
今、地域社会が求める福祉ニーズの内容は、より高度化、複雑化しており、このような複雑多様化するニーズに柔軟に対応しながら、福祉サービス利用者の人間性を尊重し、より満足度の高い福祉サービス提供するためには、各種業務に従事している職員一人一人が、組織人としてのモラルを高め自己啓発を行うと共に、その職種に応じた専門的知識・支援技術の向上に努めた。

### 3. 指定管理者の状況

- ・八代市との協定書の締結（平成28年4月1日）  
希望の里たいよう 指定期間 平成28年4月1日から平成33年3月31日の5年間（1年経過）

### 4. 施設運営の変更等

- ・特になし。

### 5. 苦情相談状況

- ・各施設に苦情受付担当者及び苦情解決責任者を置き、利用者が福祉サービスを適正に利用できるように相談業務を実施した。その結果、特に苦情に繋がるものはなかった。また、苦情解決相談委員会を開催し各施設の状況報告を行い、苦情解決第三者委員により助言をいただいた。

### 6. 施設長会

- ・事業団及び各施設の連携と円滑な運営を図るため、毎月1回定期的開催した。
- ・必要に応じて臨時に施設長会を開催した。

### 7. 職員会議

- ・事業団職員の意志疎通を図り、連携を深めるため、平成29年9月、平成30年2月に事業団会計庶務担当者会議を定期的実施した。
- ・なお、事業団内部経理監査を併せて実施した。

8. 職 員 研 修 ・事業団職員の資質向上を図るため、各施設において内部研修等を実施した。  
 ・事業団職員が人権を正しく理解し、施設利用の皆様へのサービス向上につなげるため、全職員を対象に人権に関する研修会を平成29年9月に実施した。  
 ・事業団職員が組織人としてのモラルを高めるため、等級別に分けて、それぞれの役職に応じた研修を社労士より平成29年6月、7月、8月、9月、11月に事業団職員研修として実施した。

9. 人 事 関 係 ・事業団組織（各施設間）機能をより強化し、かつ、活性化を図りながら円滑、円満で効率的な運営ができるよう職員体制を整え、又職員の活力を図るため人事異動等を実施した。  
 ・交通事故に伴う職員の懲戒処分について、事業団懲罰委員会を開催し、諭旨解雇の処分としたことを理事会に報告した。（平成29年9月25日、八代市社会福祉事業団 主任 宇佐美 孝弘 氏）  
 ・定 年 退 職 者<平成30年3月31日>八代市社会福祉事業団 参 事 淪 まゆみ 氏  
 ・新 規 採 用 者<平成30年4月1日> 八代市社会福祉事業団 主 事 草 野 光 里 氏  
 八代市社会福祉事業団 主 事 福 嶋 涼 子 氏

10. 寄 附 関 係 ・平成29年12月20日 市婦人会連絡協議会様より 20,000円（希望の里たいようへ寄附）

11. 行 事 実 施 表 ・・・・別表1

12. 受託施設等の運営事業状況

		ページ
(1) 老 人 福 祉 施 設 養護老人ホーム（入所）	保 寿 寮 ・・・・	別途資料 28 ～ 41 参照
(2) 障 害 児 通 所 支 援 事 業 所 ・ 八代圏域地域療育センター事業	八代市のぞみ母子センター ・・・・	別途資料 42 ～ 54 参照
(3) 共 同 生 活 援 助 事 業	グループホームおおぞら荘 ・・・・	別途資料 55 ～ 64 参照
(4) 障 が い 福 祉 サ ー ビ ス 事 業 所	八代市立希望の里たいよう ・・・・	別途資料 65 ～ 79 参照
(5) 相 談 支 援 事 業	相談支援事業所たいよう ・・・・	別途資料 17 ～ 20 参照

## 平成 29 年度 行 事 実 施 表

月 別	内 容
H29. 4	3. 辞令交付(昇格、定期昇給他) 3. 第1四半期委託料 4-13. 新採職員内部研修 21. 給与支払 25. 定例施設長会(たひよう) 25. 人事評価勉強会(社労士含) 27. 新採職員健診
5	9. 税理士月次監査(決算) 10. 施設長・庶務担当者会議(たひよう) 15. 事業団監事会(たひよう) 19. 給与支払 24. 定例施設長会(たひよう) 26. 人権問題啓発推進協議会総会
6	1. 事業団理事会(たひよう) 5-6. 電子開示システム入力説明会 12. 事業団職員研修 12. 電子開示システム連携説明会 14. 臨時施設長会(たひよう) 21. 事業団評議員会・施設見学(たひよう) 21. 給与支払 22. 事業団理事会 23. 定例施設長会(たひよう) 26. 市町村審査委員研修会 26. 県指導監査説明会 27. 八代市社協評議員会 30. 期末勤勉手当支給
7	3. 第2四半期委託料 4. 人権問題事業主研修会 5. 地域療育関係者会議 7. 税理士月次監査(たひよう) 13-14. 全事協九州ブロック会議 21. 給与支払 21. 社会福祉法人制度改革対応セミナー 25. 定例施設長会(たひよう) 25. 事業団職員研修(管理者) 26. 分会合同会議
8	1. 事業団職員採用に係る学校訪問 18. 税理士月次監査(たひよう) 21. 給与支払 24. 定例施設長会(たひよう) 28. 事業団職員研修(たひよう) 28. 公正採用選考人権同和問題啓発研修
9	4. 年金健康保険委員実務研修 5. 安全運転管理者講習 8. 事業団職員研修 11. 保寿寮屋根整備内部会議(保寿寮) 13. 保寿寮屋根整備関係者会議(保寿寮) 20. 税理士月次監査(たひよう) 21. 給与支払 21. 事業団職員研修 22. 八代市ふれあいフェスタ会議 26. 事業団職員研修 26. 定例施設長会(たひよう) 28. 庶務担当者会議(内部監査)
10	2. 第3四半期委託料 3. 事業団全体集会(たひよう) 3-4. 事業団新人フォロー面談 5-6. 全事協九州ブロック職員研修 12. 建物整備関係者会議(保寿寮) 12. 苦情相談委員会(たひよう) 12. 臨時施設長会(たひよう) 15. 事業団職員採用試験 18. 税理士月次監査 20. 給与支払 25. 定例施設長会(たひよう) 27. 県内事業団事務職員研修
11	3. 第8回たひよう祭 9. 臨時施設長会(たひよう) 10. 災害協定指定管理者説明会 10. 八代市ふれあいフェスタ準備 11. 八代市ふれあいフェスタ参加 13. 社会保険事務研修会 16. 年末調整説明会 20. 税理士月次監査(たひよう) 21. 給与支払 22. 定例施設長会(たひよう) 28. 30. 社会福祉法人運営実務研修会 29. 等級別職員研修会 13-17. 事業団職員健康診断の実施
12	6. 臨時施設長会(たひよう) 8. 期末勤勉手当支給 14. H29 県社協退職共済事業事務説明会 21. 給与支払 21. 税理士月次監査(年末調整) 22. 定例施設長会 25. 事業団理事会 28. 年末調整支給 28. 事業団仕事納め式
H30. 1	4. 事業団職員仕事始め式(たひよう) 4. 第4四半期委託料 15. 熊本計算センター来所 19. 給与支払 24. 税理士監査(給与支払報告) 25. 定例施設長会(たひよう) 25. 事業団職員協議(たひよう)
2	5. 社労士相談(たひよう) 16. 臨時施設長会(たひよう) 17. 八代市いきいきふくしスポーツ大会 19. 年金委員実務研修会 21. 給与支払 22. 税理士月次監査(たひよう) 22. 苦情第三者委員研修会 26. 定例施設長会(たひよう) 27. 庶務担当者会議(内部監査) 27. 市共同募金委員会審査委員会
3	9. 臨時施設長会(たひよう) 12. 副理事長レク 14. 理事長レク 15. 事業団理事会(たひよう) 19. 保健指導 20. 給与支払 26. 定例施設長会(たひよう) 30. 退職辞令交付式 30. 退職式(たひよう)

## 指定相談支援事業所たひよう事業報告書

### (1) 設置目的

地域の障がい者等の福祉に関する各般の問題につき、障がい者等や家族等からの相談に応じ、必要な情報提供や助言、障がい福祉サービスの利用支援及び地域相談支援等を行うと共に関係機関や福祉サービス提供事業者と連絡調整や権利擁護のために必要な援助を行い、その他の便宜を総合的に供与し、障がい者（児）が安心して地域生活が営むことができるように支援することを目的とする。

(2) 設 置 社会福祉法人 八代市社会福祉事業団

(3) 所 在 地 八代市日奈久平成町 1-1 養護老人ホーム 保寿寮内

(4) 事業開始年月日 平成27年4月1日

### (5) 実施事業内容

1. 指定一般相談支援事業・・・平成29年度につきましては実施なし（該当者なし）

#### ①地域移行支援

障害者支援施設等に入所している障害者又は精神科病院等に入院している精神障害者につき、住居の確保その他の地域における生活に移行するための活動に関する相談その他の必要な支援を行う。

#### 対 象

ア 障害者支援施設、のぞみの園又は療養介護を行う病院に入所している障害者。

※児童福祉施設に入所する18歳以上の者、障害者支援施設等に入所する15歳以上の障害者みなしの者も対象

イ 精神科病院等に入院している精神障害者。

※入院期間が1年以上の者

※入院期間が1年未満である者であっても措置入院や医療保護入院者で住居の確保などの支援を必要とする者や、地域移行支援を行わなければ入院の長期化見込まれる者についても対象

#### ②地域定着支援

居宅において単身等で生活する障害者につき、常時の連絡体制を確保し、障害の特性に起因して生じた緊急の事態等に相談その他必要な支援を行う。

#### 対 象

ア 居宅において単身であるため緊急時の支援が見込めない状況にある者

イ 居宅において家族と同居している障害者であっても、当該家族等が障害、疾病等のため、障害者に対し、当該家族等による緊急時の支援が見込めない状況にある者

### ③基本相談支援

地域の障害者等の福祉に関する各般の問題につき、障害者等、障害児の保護者又は障害者等の介護を行う者からの相談に応じる。

## 2. 指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業

- ① 障害福祉サービスの申請若しくは変更の申請に係る障がい者若しくは障がい児の保護者又は地域相談支援の申請に係る障がい者の心身の状況、その置かれている環境、サービスの利用に関する意向その他の事情を勘案し、利用する障害福祉サービス又地域相談支援の種類及び内容等を記載したサービス等利用計画案を作成する。

「サービス等利用計画案等の記載事項」

- ア 利用者及びその家族の生活に対する意向
- イ 総合的な援助の方針
- ウ 生活全般の解決すべき課題
- エ 提供される福祉サービス等の目標及びその達成時期
- オ 福祉サービス等の種類、内容、量
- カ 福祉サービス等を提供する上での留意事項
- キ モニタリング期間

- ② 支給決定若しくは支給決定の変更の決定後に、指定障害福祉サービス事業者、指定一般相談支援事業者との連絡調整等の便宜を供与するとともに、支給決定又は地域相談支援給付決定に係るサービスの種類及び内容、担当者等を記載した「サービス等利用計画」を作成する。

「サービス等利用計画等の記載事項」

サービス等利用計画案の内容に加え、次の事項を追加。

- ア 福祉サービス等の利用料
- イ 福祉サービス等の担当者

対象者

- ア 計画相談支援

障害福祉サービスの申請若しくは変更の申請に係る障害者若しくは障害児の保護者又は地域相談支援の申請に係る障害者。

- イ 障害児相談支援

障害児通所支援の申請若しくは変更の申請に係る障害児の保護者。

### ③継続サービス利用支援及び継続障害児支援利用援助

支給決定障害者等が、支給決定の有効期間内において、サービス等利用計画又は障害児支援利用計画が適切であるかどうかにつき、モニタリング期間ごとに、障害福祉サービス等の利用状況を検証し、その結果及び心身の状況、その置かれている環境、サービスの利用に関する意向その他の事情を勘案し、「サービス等利用計画」の見直しを行い、その結果に基づき次のいずれかの便宜を供与する。

ア「サービス等利用計画」を変更するとともに、関係者との連絡調整等を行う。

イ 新たな支給決定若しくは支給決定の変更の決定又は地域相談支援給付決定が必要と認められる場合において、当該支給決定障害者等又は地域相談支援給付決定障害者に対し、当該申請の勧奨を行う。

#### 対象者

指定特定相談支援事業者が提供したサービス利用支援により「サービス等利用計画」が作成された支給決定障害者等又は地域相談支援給付決定障害者。

#### ④基本相談支援

地域の障害者等の福祉に関する各般の問題につき、障害者等、障害児の保護者又は障害者等の介護を行う者からの相談に応じる。

### (6) 資質向上

- ①八代市障がい者支援協議会相談支援部会への参加。(事例検討など勉強会)
- ②熊本県県南地域相談支援事業所連絡協議会への参加。(事例検討など勉強会)

### (7) 関係機関等との連携

- ①利用者並びにご家族との面会、連絡を密に図り、②に記載している機関等への協力体制を実施するため、利用者を中心としたネットワーク作りに努めました。
- ②八代市担当課並びに保健師、福祉事務所、熊本県、担当地域振興局、社会福祉協議会、障がい者(児)事業所、医療機関、職業安定所、支援学校等、民生児童委員、障がい者相談員等との連携に努めました。
- ③サービス担当者会議等により、本人の希望等、計画への共通理解、情報共有を図った。

### (8) 利用者数(契約者数)

対象者	平成29年度利用者数	利用者実数(累計)
障がい者	0名	33名
障がい児	10名	46名
計	10名	79名

### (9) 実施支援数

①訪問相談	28件	④サービス担当者会議等	80件
②来所相談	12件	⑤関係機関との調整	243件
③電話相談	63件	⑥同行・その他	462件

(10) 計画相談支援・障がい児計画相談支援

計画相談支援		
契約者	サービス等利用計画作成	モニタリング
33名	22件	52件

障がい児計画相談支援		
契約者	サービス等利用計画作成	モニタリング
46名	46件	81件

## 老人福祉施設 養護老人ホーム 保 寿 寮

### 1. 施設理念

敬愛の心で入所者の生活を支えます。

### 2. 基本方針

- ・入所者の人格を尊重し、思いやりの心と笑顔で接します。
- ・安全で安心な生活環境を提供します。
- ・それぞれの能力にあった支援を計画的に行います。
- ・開かれた施設・地域に根ざした施設を目指します。
- ・職員は資質向上を目指し、常に努力します。

### 3. 処遇方針体系（別紙資料1）

### 4. 入所者の状況

平成29年4月1日現在

	入所者数			
		男	女	合計
入所状況	市内	15	35	50
	市外	0	0	0
	合計	15	35	50
平均年齢		76.7	83.7	81.6
最高年齢		86	94	—
最低年齢		67	67	—

市外入所者内訳

平成30年3月31日現在

	入所者数			
		男	女	合計
入所状況	市内	16	33	49
	市外	1	0	1
	合計	17	33	50
平均年齢		76	83.9	81.2
最高年齢		86	95	—
最低年齢		65	68	—

市外入所者内訳（芦北町1名）

### 5. 年齢別入所状況

平成29年4月1日現在

	59歳以下	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95歳以上	合計
男	0	0	1	4	7	1	2	0	0	15
女	0	0	1	3	4	9	10	8	0	35
合計	0	0	2	7	11	10	12	8	0	50

平成30年3月31日現在

	59歳以下	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95歳以上	合計
男	0	0	2	6	5	2	2	0	0	17
女	0	0	2	3	3	6	12	6	1	33
合計	0	0	4	9	8	8	14	6	1	50



6. ショートステイ利用状況

利用者 2名(男2名)

- ・理由 …… 虐待、家庭の都合等
- ・延べ日数 …… 45日

7. 外部介護サービス利用状況

・サービス内容：通所介護事業所（デイサービスセンター）利用

平成29年4月1日現在 合計14名  
(要支援4名、要介護者10名)

平成30年3月31日現在 合計14名  
(要支援3名、要介護者11名)

	利用者数
男	4
女	8
合計	12

	利用者数
男	3
女	6
合計	9

8. 障害者加算認定対象者増減状況

平成29年4月1日現在

(身障4名、知的2名、精神3名)  
医療的診断書10名)

平成30年3月31日現在

(身障4名、知的2名、精神3名)  
医療的診断書8名)

	対象者数
男	7
女	12
合計	19

	対象者数
男	6
女	11
合計	17

9. 職員の配置状況

平成29年4月1日現在

平成30年3月31日現在

職 種	人数
施 設 長	1
事 務 員	1
栄養士(嘱託)	1
看 護 師	1
主任生活相談員	1
生活相談員	1
主任支援員	1
支 援 員	1
支援員(嘱託)	1
支援員(臨時)	0
嘱 託 医	1
合計	11

職 種	人数
施 設 長	1
事 務 員	1
栄養士(嘱託)	1
看 護 師	1
主任生活相談員	1
生活相談員	1
主任支援員	1
支 援 員	2
支援員(嘱託)	1
支援員(臨時)	1
嘱 託 医	1
合計	12

10. 施設整備状況

日付	整備箇所	整備理由	金額
4/12	厨房配膳窓修理	厨房配膳窓が動かなくなった為	95,400 円
5/8	2階支援室 壁紙フローリング修理	雨漏りが発生した為	26,000 円
5/29	洗面台床底補修	居室の洗面台床が腐食した為	52,500 円
6/12	自動火災報知機交換	消防法により火災報知設備と通報装置の連動が必要となった為	97,200 円
6/23	浴室シャワー取替修理	浴室のシャワーが故障した為	62,640 円
7/18	厨房排水管修理	厨房排水管から水が流れなくなった為	28,620 円
7/20	浄化槽ブローア取替	異物の混入で浄化槽のブローアが故障した為	518,616 円
7/31	浴槽タイル目地修理	浴槽内のタイル等が剥がれ、漏水が発生した為	97,200 円
8/28	厨房外 木製ハンガードア修理	厨房出入り口のハンガードアのレールが腐食し動かなくなった為	55,080 円
9/5	厨房水道管ドレン修理	厨房内の水道配管から水漏れが発生した為	38,880 円
9/11	厨房スチールドア修理	厨房スチールドアの動きが悪くなり、開閉出来なくなった為	19,500 円
9/11	厨房ダクトファンベルト取替	換気扇ダクトファンベルトから異音が発生した為	58,860 円
10/3	厨房給湯器バルブ修理	給湯器から水漏れが発生した為	21,600 円
11/17	管理人室ユニットバス換気扇修理	管理人室ユニットバス換気扇が故障した為	45,360 円
12/6	厨房配膳窓レール修理	厨房配膳窓が動かなくなった為	49,680 円
12/13	厨房水道管ドレン修理	厨房内の水道配管から水漏れが発生した為	8,640 円
12/18	205居室 トイレ壁漏水修理	トイレ壁から水漏れが発生した為	21,600 円
2/2	ティーサーバー 水漏れ修理	ティーサーバー内のホースが損傷した為	18,122 円
2/5	誘導灯バッテリー交換	消防設備点検で不良個所が見つかった為	15,120 円
3/26	館内照明LED化	館内の蛍光灯等をLEDに変更	
設備整備合計金額：1,330,258円			

11. 平成29年度保寿寮入所者異動表

①. 在籍者数（月初現在）

単位：人

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
在籍者数	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	49	49

②. 入退所異動者

(1) 入所

月/日	氏名(男女別)	入所前在籍先
4/1	T・K (女)	病院
5/1	K・Y (女)	グループホーム
8/31	Y・H (男)	在宅
9/4	K・H (男)	病院
9/27	T・T (男)	在宅
9/29	S・M (女)	在宅
12/26	H・B (男)	在宅
1/29	Z・T (女)	老人保健施設
3/28	T・H (男)	病院

(2) 退所

月/日	氏名(男女別)	異動先
4/13	H・T (男)	八代更生病院
8/18	M・M (男)	高田病院
8/30	H・T (女)	有料老人ホーム
9/4	K・S (女)	高田病院
9/12	T・Y (男)	入院死亡
12/11	E・K (女)	八代更生病院
1/20	K・S (女)	高田病院
1/29	Y・N (女)	八代更生病院

12. 事故報告件数

平成29年度件数 46件

(内訳)

- ①転倒（屋内） 27件
- ②転倒（屋外） 2件
- ③誤嚥（食事） 0件
- ④服薬（誤飲） 1件
- ⑤無断外出 3件
- ⑥救急医療 2件
- ⑦その他 11件

※職員会議にて報告・検討

13. 苦情相談件数

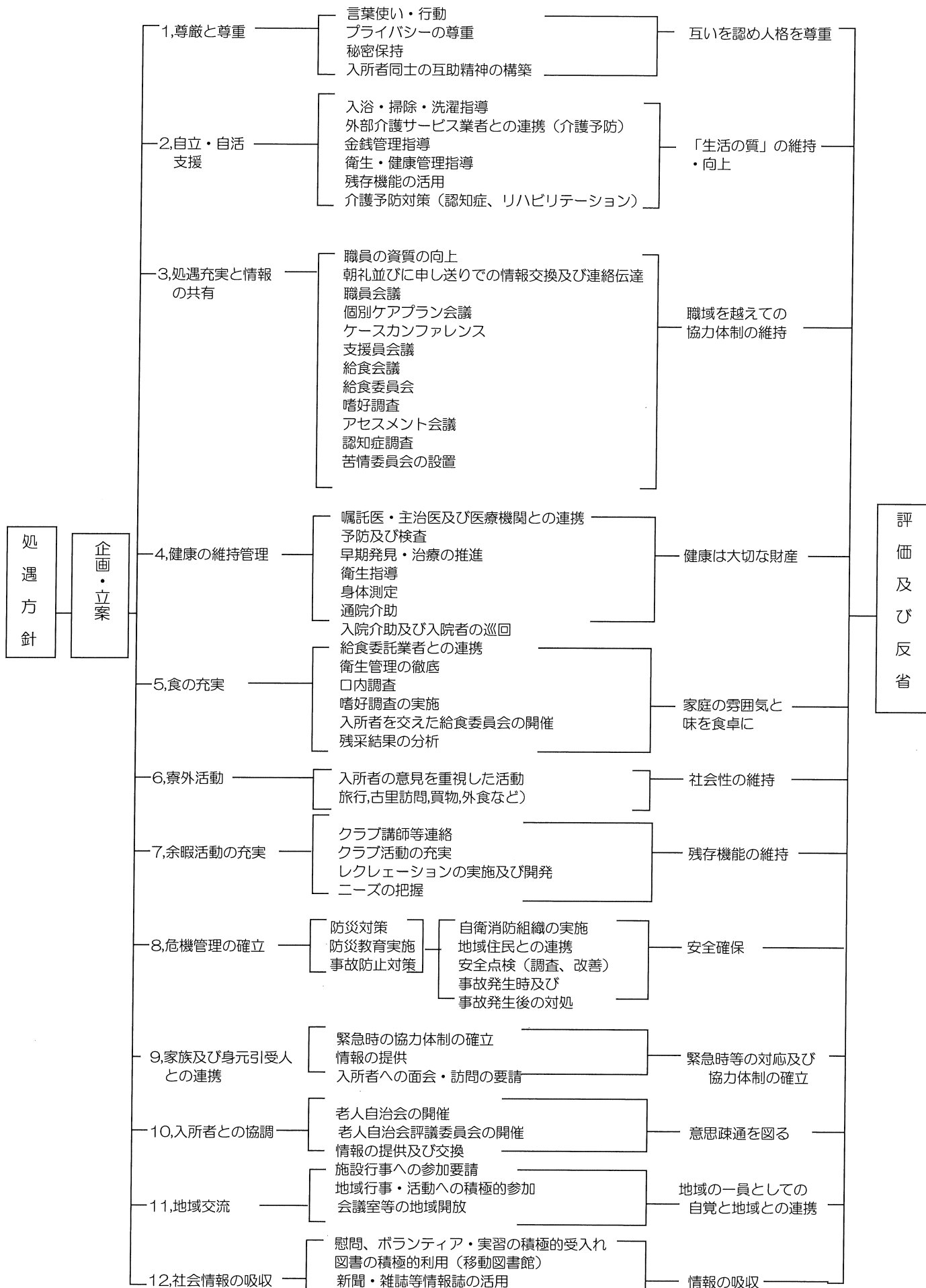
平成29年度件数 17件（内：未解決0件）

(内訳)

- ①他入所者とのトラブル（暴力・暴言等） 2件
- ②被害妄想と思われるもの（居室侵入等） 3件
- ③職員の対応等に対するもの 1件
- ④身元・地域・事業所等外部からの苦情相談 1件
- ⑤その他 10件

※朝礼・終礼時にて報告・検討

処遇方針体系



## 行 事 実 施 表

月別	月 例 行 事	寮 内 行 事	健 康 衛 生	地 域 交 流・慰 問 関 係・そ の 他
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会</li> <li>・職員会議</li> <li>・ケアプラン会議</li> <li>・アセスメント会議</li> <li>・理髪</li> <li>・体調測定</li> <li>・誕生会</li> <li>・コーヒータイム</li> <li>・特別メニュー(月1回)</li> <li>・買物日</li> <li>・誕生月に御家族への近況報告 (各担当から処遇報告)</li> </ul>	鯉のぼり作成・展示、 預貯金報告、	介護訪問調査、 感染症対策委員会	瑞峰流慰問、さくら善友会慰問、 日奈久小学校入学式 ショート利用1名
5		菖蒲風呂、バラ園見学	認知症調査、 介護訪問調査	日奈久小中合同運動会見学 ショート利用1名
6		氷室祭参拝、 苗植え(から芋)、 寮内草取り	介護訪問調査、保健衛生指導、 給食委員会、エアコン清掃、 水質検査(温泉水) 室内消毒	日奈久小4年生交流会 日奈久中3年生交流会 実りの会慰問
7		七夕、預貯金報告 全体レクリエーション	検尿、健康診断(心電図・ 一般採血・リドゲ)、介護訪問調査、 感染症対策委員会	日奈久小4年生交流会 日奈久老人会交流会 ショート利用1名
8		盆用品買物、仏壇磨き、 盆供養法話、 不在者投票(市長・市議)	嗜好・口内調査、介護訪問調査、 ガラス清掃、換気扇・トイレ排水溝掃除、 布団クリーニング	ショート利用1名
9		敬老会、彼岸供養法話、 寮内草取り・片付け、 木下大サーカス見学	給食委員会、介護訪問調査、 施設内外安全点検、貯水槽清掃、 給食委員会	八代市盲人福祉協議会慰問
10		寮内草取り、芋掘り、 預貯金報告、交通安全教室 (市役所)、木下大サーカス 見学、不在者投票(参議院)	介護訪問調査、インフルエンザ 予防注射、嗜好調査、 浄化槽清掃、ワックス清掃	実りの会慰問 ふれあいフェスタ出展
11		木下大サーカス見学、妙見 祭見学、ふれあいフェスタ 見学、たいよう祭見学	介護訪問調査、エアコン清 掃、室内消毒、感染症対策 委員会	花馬來寮、 さくら善友会慰問 日奈久校区婦人会研修
12		忘年会、正月用品買物、 大掃除、ゆず風呂、 余暇活動(人吉方面)	保健衛生指導、介護訪問調 査、ガラス清掃、給食委員 会、上水道水法定検査	日奈久小4年生交流会、 八代地域婦人会慰問
1		若風呂、初詣、 預貯金報告、どんどや	感染症対策委員会、給食委 員会	日奈久小4年生交流会
2		豆まき、余暇活動、 防災避難訓練	食事摂取調査、給湯器洗浄 消防設備点検	
3		彼岸供養、花見、 余暇活動(天草方面)	給食委員会 健康診断(心電図・一般採 血・検尿)	日奈久老人会交流会 二見中央保育園慰問 入所者状況調査 日奈久小学校卒業式 のぞみ母子センター交流

※ケースカンファレンス(随時実施) ※預貯金払出(毎月1回・随時) ※入浴(月・水・金) ※移動図書(毎月1回)

## ※クラブ活動

・生 花・・・毎月1回(8名) ・詩 吟・・・毎月2回(9名) ・書 道・・・毎月2回(10名) ・音 楽・・・毎月2回(希望者)  
・園 芸・・・随時活動(希望者) ・カラオケ・・・随時活動(希望者)

※ワックス清掃(年1回) ※冷暖房機・空調機清掃(年2回) ※ガラス清掃(年2回) ※害虫消毒(毎月)

※室内消毒(年2回) ※各種施設点検(随時)

平成 29 年度 障害児通所支援事業所 八代市のぞみ母子センター 事業報告書

1、設置目的

**児童発達支援**

児童福祉法に規定する指定障害児通所支援事業所の趣旨に基づき、通所給付を受けた障害児に対し、日常生活における基本的動作及び知的技能を習得し、並びに集団生活に適応できるよう、適切かつ効果的な指導及び訓練を行うことを目的とします。

**放課後等デイサービス**

児童福祉法に規定する指定障害児通所支援事業所の趣旨に基づき、通所給付を受けた障害児に対し、生活能力の向上のために必要な訓練を行い、及び社会との交流を図ることができるよう、適切かつ効果的な指導及び訓練を行うことを目的とします。

2、利用登録者(障害別・年齢別)

児童発達支援事業

H30.3

放課後等デイサービス H30.3

種別	計
肢体不自由児	0
自閉的傾向児	25
ダウン症児	0
知的障害児	3
その他	1
未診断	18
計	47

	男	女	計
年長児	13	7	20
年中児	10	3	13
年少児	4	3	7
0.1.2歳	3	4	7
計	30	17	47

種別	計
肢体不自由児	3
自閉的傾向児	26
ダウン症児	0
知的障害児	2
言語発達遅滞	0
その他	0
計	31

	男	女	計
1年生	3	1	4
2年生	3	0	3
3年生	2	1	3
4年生	7	2	9
5年生	4	1	5
6年生	2	1	3
中学生	4	0	4
計	25	6	31

3、療育の内容

**児童発達支援事業**

1)年齢別クラス

- ・活動 月・火・水・木・金は8時30分～12時30分、火・水・金は13時30分～17時30分年齢別クラスで支援を実施。
- ・対象児 年齢別(年長、年中、年少、0、1、2歳児)の各10名程度の子どもと保護者。
- ・目的 小集団の活動を通して、日常生活や社会生活に適応できるような、運動能力、認知理解、コミュニケーション能力を促す。また、保護者のいろいろな「困りごと」に対応。
- ・個別的指導 1日一定時間以上の個別的指導を実施。

2)身辺自立クラス

- ・活動 月曜日から金曜日までの間(所要時間:1時間30分)支援を実施。
- ・対象児 身辺面において「自立」に専門的な支援が必要とおもわれる子ども。
- ・目的 「自分のことは自分で」の意識を育てることで人との関わりで大切なマナーを知ることを目的とし、子どもとその保護者に分かりやすい手順や場所の環境設定を指導。

3)土曜日療育

- ・活動 第2土曜日(療育時間:8時30分～14時30分)支援を実施。
- ・対象児 就学前又は就学児童の10名程度の子ども。
- ・目的 自分のことは自分で行き、保護者以外の人と関わる経験を積み、異年齢の子どもと関わる機会を作る。

**放課後等デイサービス事業**

- ・活動 月曜日から金曜日まで支援を実施。
- ・対象児 就学児童の10名程度の児童とその保護者。
- ・目的 生活能力の向上のために必要な訓練を行い、また、社会との交流を図ることができるよう、指導及び訓練を行う。

一週間の流れ

曜日 時間	月	火	水	木	金	第2土
8:30～12:30	年中児1	年中児2	身辺自立	年少児	0,1,2歳児	8:30～14:30 ・放課後等デイ ・身辺自立
13:30～17:30	放課後等デイ	年長児1 放課後等デイ	年長児2 放課後等デイ	年長児3 放課後等デイ	放課後等デイ	

4、八代圏域地域療育センターからの支援

(理学療法士・作業療法士・心理士・言語聴覚士)

- ① 療育相談
- ② 勉強会

※ 八代圏域地域療育センターと連携を図り、利用者のニーズに沿った専門性の高い支援を受けた。

5、利用状況

区分	開所 日数	児童発達支援			放課後デイ			月間 人数	一日 平均 人数	前年度 -日平均 人数	内 容
		利用 実人数	延べ 人数	欠席 人数	利用 実人数	延べ 人数	欠席 人数				
H29 4月	日 21	33	77	4	34	110	12	187	8.9	6.0	4~7 事業団新人研修受入 22 放デイ土曜日草すべり 24 支援日程調整会議
5	21	34	100	9	32	84	15	184	8.8	8.8	2 消防設備点検 17 年長：ST支援 19 職員会議 31 就学についての勉強会（年長児保護者）
6	23	34	108	11	32	101	10	209	9.1	9.3	1 体操教室（年少～・0～2歳） 2,16 職員会議 13 こども総合療育センターST支援（年中） 20,21 交通安全教室（年長） 29 不審者対応訓練練習 30 年少・0～2歳：ST支援
7	20	35	96	13	32	89	9	185	9.3	9.4	7,18 就学相談 14 職員会議 19 スタッフ研修（感覚統合）不審者対応訓練（スタッフのみ） 21 体操教室（放デイ） 24,26,28 ALT交流（放デイ） 31 八代保健所による感染症予防・対応指導（放デイ）
8	22	38	126	10	32	89	6	215	9.8	9.4	2 不審者対応訓練（放デイ） 18 スタッフ会議 21~24 夏祭り 25,28,30 外食体験（放デイ） 31 就学相談
9	21	38	107	22	32	90	8	197	9.4	9.9	6 個別支援計画等会議 8 事業団人権研修 9 体操教室（放デイ） 11 体操教室（年中） 14,26 就学相談 27 職員会議 29 通所支援事業所スタッフ会議
10	22	39	113	15	32	87	12	200	9.1	9.6	11 個別支援計画等会議 16 通所支援事業所連絡会議 17 消防総合訓練 19,20 特別支援教育就学説明会（年中） 25 職員会議 30 ST支援：年中
11	21	43	115	15	31	96	8	211	10.0	9.9	1 児童発達支援ガイドライン勉強会 17 土曜療育：路線バス乗車 21 保護者交流会 28,29 体操教室（年長・年中）
12	21	43	136	9	31	80	15	216	10.3	10.8	3 ふれあい祭（代陽校区）：放デイ参加 13 八代圏域保護者保護者交流会 14 クリスマス会（イオン） 19,27 職員会議
H30 1	19	45	101	15	31	79	11	180	9.5	10.1	10 通所支援事業所連携会議 17 職員会議 23 交通安全教室（年長） 26 通所支援事業所スタッフ勉強会 31 個別支援計画会議
2	20	46	113	17	31	70	13	183	9.2	9.8	7 交通安全教室（年長） 14,21 個別支援計画会議（児発） 16 職員会議・実習生反省会 17 体操教室（放デイ） 19 職員研修（子ども総合療育センター心理士による） 28 自己評価について職員会議、通所支援事業所連絡会議
3	21	47	132	6	31	80	8	212	10.1	8.5	7,14 個別支援計画会議（放デイ） 16 消防総合訓練（未満児） 19,28 職員会議 29 お別れ遠足（年長）
計	252		1324	146		1055	127	2379	9.4	9.3	

6、評価

- ・就学児と未就学児の保護者合同の交流会を開催した。学校との連携などよいアドバイスがもらえたと感想をいただいた。
- ・発音・構音・よだれ等の口腔機能が未熟な子どもさんに対して、療育的支援を通して家庭療育に繋がられるようなアプローチの方法、また移行支援や関係機関との連携のポイントについて、熊本県子ども総合療育センターからの支援を受け、スタッフのスキルアップを図った。
- ・代陽校区の皆さんとの交流を目的とし「代陽校区ふれあい祭」に参加。各世代の親睦を深め、体験活動を通して、子ども達の好奇心、探究心を引き出し、自らの創意工夫をするを養った。来年もぜひ参加してほしいと評価をいただいた。
- ・子どもたちと一緒に研修(保健所：手洗いの出前講座、警察署：不審者の対応について)を実施することができた。

# 平成 29 年度八代圏域地域療育センター事業報告書

平成 30 年 3 月 31 日

## 1. 療育相談員設置事業について

### (1) 療育相談員 2 名設置

施設訪問：52 件（うち療育拠点事業同行 33 件） 電話相談（30 分以上）：27 件 勉強会：9 回

## 2. 療育三事業について

※療育三事業に関わる専門スタッフ（非常勤専門職）

心理士 31 日/年 作業療法士 18 日/年 言語聴覚士 15 日/年 理学療法士 5 日/年

### (1) 在宅支援訪問療育等指導事業

在宅障がい児（者）等に対し、訪問の方法により、各種の相談・指導を行う

#### ① 相談を受けたおもな内容

- 発達相談や児の特性理解

（ことばの遅れ、感覚・運動機能、吃音、発音、パニックや切りかえの悪さなどの問題行動、  
身辺自立、構造化 関わり方など）

- ケース会議（園・学校にて）
- 療育について（情報提供、見学）
- 医療受診について
- 学校について（就学先検討、見学、転校など）
- 保育園について（入園、転園など）

#### ② 在宅障害児等に対し、訪問の方法により、各種の相談・指導を行った件数。

- 支援を行った実人数：41 人

- 延べ件数：54 件（就学前：34 件 学齢児：20 件）

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
件数	八代市	2	4	4	7	5	5	3	9	6	2	3	3	53
	氷川町	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

#### ③ 非常勤専門職の同行件数

- 作業療法士 8 件 理学療法士 3 件

#### ④ 各種の相談・指導後の繋ぎの件数

医療機関紹介	2	ケース会議	2
療育機関紹介	4	学校見学	2
専門スタッフ評価	4	こども発達相談	1
就学相談	2	相談があれば対応する	37



## (2) 在宅支援外来療育等指導事業

在宅障がい児（者）等に対し、外来の方法により、各種の相談・指導を行う

### ① 相談を受けたおもな内容

- ・専門職による発達相談、発達検査、各種評価、目標設定や関わり方
- ・発音、吃音について
- ・療育について
- ・医療受診について
- ・保育園について（入園、転園など）
- ・就学相談（学校教育課と連携）
- ・福祉サービス、福祉機器について
- ・登園、登校しづりについて
- ・転入、転出に関する情報提供
- ・保護者自身の受診、カウンセリングについて
- ・学校について（就学先検討、見学など）
- ・ぞうさん教室（親子の関わり教室） 別紙1

### ② 在宅障害児等に対し、外来の方法により、各種の相談・指導を行った件数。

- ・支援を行った実人数：96人
- ・延べ件数：135件（就学前：104件 学齢児：31件）

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
件数	八代市	7	4	7	8	7	11	12	18	17	17	14	13	135
	氷川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

### ③ 非常勤専門職の実施件数

- ・心理士 21件 作業療法士 7件 言語聴覚士 39件

### ④ 各種の相談・指導後の繋ぎの件数。

医療機関紹介	18	通所支援事業所見学	4
療育機関紹介	1	親子の関わり教室	8
専門スタッフ評価	9	医療機関同行	1
就学相談	2	学校見学	1
ケース会議	1	園訪問	2
相談があれば対応する	89		

## (3) 施設支援一般指導事業

障害児通所支援を行う事業所及び障害児保育を行う保育所等の職員に対し、在宅障がい児（者）等の療育に関する技術の指導を行う

① 相談を受けたおもな内容

- ・発達相談と児の特性理解と関わり方
- ・保護者への働きかけ方や対応
- ・箸の使い方、転びやすい子どもの靴の選び方など
- ・勉強会 3回

② 児童発達支援事業、障害児保育を行う保育所等の職員に対し、在宅障害児等の療育に関する技術の指導を行った件数。

- ・支援を行った実施施設：60件
- ・延べ施設：142件

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
件	八代市	6	11	9	8	9	12	14	11	10	9	13	13	127
数	氷川町	1	3	2	1	2	1	0	3	2	0	2	0	17

③ 非常勤専門職の同行件数

- ・心理士 5件    作業療法士 31件    言語聴覚士 4件    理学療法士 10件

3. その他

(1) 熊本県こども療育センターからの支援と連携

- ・療育拠点施設事業における地域支援・・・・・・・・・・(別紙2)
- ・障害児通所支援事業所保育士等スキルアップ研修

(2) 八代圏域通所支援事業所との連携

- ・連絡会議及び合同勉強会・・・・・・・・・・(別紙3)

(3) 地域の保護者会への支援・・・・・・・・・・(別紙3)

(4) 県南広域本部福祉課主催の会議・・・・3回(8/30、10/5、10/31)

(5) 県教育事務所との連携

- ・八代地域特別支援教育相談会・・・・・・1回(8/2)
- ・八代地域特別支援連携協議会・・・・・・1回(2/6)

(6) 八代市学校教育課との連携

- ・八代市特別支援連携協議会(欠席)
- ・八代市就学指導委員会・・・・・・4回(6/30、8/18、9/22、12/15)
- ・八代市特別支援教育体制推進事業での専門委員としての役割・・・・2回(5/16、1/23)
- ・特別支援教育就学説明会・・・・・・4回(4/18・21、10/19・20)

(7) 氷川町学校教育課との連携

- ・氷川町就学指導委員会・・・・・・2回(9/5、12/7)

(8) 八代市障がい者支援協議会・・・・・・2回(7/28、2/14)

- ・こども部会・・・・・・・・・・4回(6/8、9/1、11/21、1/29)

(9) 八代圏域ペアレントメンター事業にコーディネーターとして参加

- ・フォローアップ研修等・・・・・・4回(6/27、8/19、8/25、1/13)

# 平成29年度 共同生活援助事業 グループホームおおぞら荘 事業報告書

## 1. 設置目的

就労し又は就労継続支援等の日中活動を行っている利用者(知的障害者・精神障害者)に対して、地域において共同して自立した日常生活ができるよう必要な支援を行うことを目的とする。

- (1)設置者 社会福祉法人 八代市社会福祉事業団
- (2)ホーム名称 グループホームおおぞら荘
- (3)ホーム所在地 八代市麦島東町4号8番地・12番地
- (4)事業開始年月日 平成21年6月1日
- (5)定員 6名(男3名・女3名)

## 2. 入居者状況(平成30年3月31日現在)

### (1)定員6名(男3名・女3名)

事業名	月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
共同生活援助	入居者	6	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	入居	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	退居	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

### (2)性別

男女別	人数	計
男	3	3
女	2	2
計	5	5

### (3)市町村別

市町村名	男	女	計
八代市	3	2	5
計	3	2	5

### (4)平均年齢

性別	総年齢	平均年齢
男	131歳	43歳
女	120歳	60歳
計	251歳	50歳

### (5)障害種別

性別	知的	精神	計
男	3	0	3
女	2	0	2
計	5	0	5

### (6)年齢別

性別	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～60歳	61歳以上	計
男	0	1	1	1	0	3
女	0	0	0	1	1	2
計	0	1	1	2	1	5

### 3. 対象者

対象者	対象者像
知的障害者・ 精神障害者	健康で就労し又は就労継続支援等の日中活動を利用している知的障害者・精神障害者

### 4. 職員配置

管理者	サービス管理責任者	世話人
1	1（管理者との兼務）	4(4対1)

### 5. 支援内容

#### (1) 日常生活支援

- ① 居室清掃支援
- ② 入浴への支援
- ③ 衣服の洗濯及び衣服の整理整頓への支援等
- ④ 買物への支援
- ⑤ 衣服の着脱への支援

#### (2) 共同生活支援

- ① 浴室清掃支援
- ② 地域清掃支援
- ③ 食前の準備、食後の後片付け及び食器洗い等への支援
- ④ 余興の過ごし方への支援

#### (3) 健康管理支援

- ① 検温への支援
- ② 薬の服用への支援
- ③ 歯磨き支援(食後)
- ④ 春～夏場においては、健康作りを目的として20分間程度公園等で散歩を行った。
- ⑤ 希望の里たいようと連携を取りながら対応した。

### 6. 支援計画

支援については、サービス管理責任者が、個別支援計画の原案の内容について、入居者又はその家族に対して説明し、文書により入居者の同意を得ることとし、個別支援計画を作成した際は、入居者へ交付し支援にあたってきた。

この個別支援計画は6ヵ月に1回以上定期的に個別支援計画の見直しを行い、必要に応じて、個別支援計画の変更を行ってきた。

### 7. 地域との交流(地域貢献)

毎月、グループホームおおぞら荘周辺の地域清掃(空き缶拾い、ごみ拾い)を行った。

## 8. 支援結果(まとめ)

### (1)日常生活支援

- ① 全員が挨拶等大きな声できるようになってきた。
- ② 自分自身できることは、自ら行うことを基本にしてきた。(時々支援が必要)
- ③ 入居者各々が自分自身の居室については、掃除を行い、清潔を保った。(時々支援が必要)
- ④ 電子機器の使い方などの支援を行い、一人で使用できるようになった。
- ⑤ 利用者のADLの低下により、生活面での不安から自宅での生活を望まれ、日々のグループホームの利用に繋がらなかった。

### (2)共同生活支援

- ① 自由時間はテレビ鑑賞、または、買い物に出かける等楽しく過ごしていた。
- ② 外出した場合ホームへの帰宅時間等も各々が守れた。
- ③ お風呂の掃除、食前の配膳、食後の後片付け(食器洗い)等もお互い協力し合い交替で行った。
- ④ 毎月、地域の清掃(ごみ拾い、空き缶拾い)に入居者全員が積極的に行った。
- ⑤ 毎月、避難訓練(地震含む)を実施した。

### (3)健康管理支援

- ① ホームへの帰宅後は手洗いうがいの励行に努めた。
- ② 毎朝、自ら検温を行い健康管理に努めた。
- ③ 薬の服用については、自らが服用できているか確認できるように工夫し支援を行った。
- ④ 体調が悪い時には、世話人で対応し必要な場合においては、事業所及び家族に連絡を行った。
- ⑤ 春から夏場にかけて入居者全員が体力づくり及び健康維持の目的で楽しく、散歩を行った。

### (4)日中活動等への参加状況

就労場所	実 員	事業名	種目			
			買物カゴ	公園作業	印 刷	軽作業
八代市立希望の里 たいよう	(男2・女2)	就労移行支援事業				
		就労継続支援B型事業	1	1	1	1
有限会社ホープクリ ーニング八代工場	(男1名)	八代市海士江町 2332-4	1			
地域移行	該当者無					

病気以外は休むことなく日中活動への参加を楽しみにしている。

## 平成 29 年度 行 事 実 施 表

(グループホームおおぞら荘)

月別	行事関係	防災対策	施設管理	交流	その他
4	7 消防設備点検 13 花見 15 ｸﾘｰｼﾞｮﾝ(ﾄﾞﾗｲﾌﾞ) 22 地域清掃 22 ｸﾘｰｼﾞｮﾝ(DVD鑑賞) 30 お別れ会	22 避難訓練	20 世話人会議		30 入居者退所
5	13 ｸﾘｰｼﾞｮﾝ(DVD鑑賞) 20・27 ｸﾘｰｼﾞｮﾝ(ﾄﾞﾗｲﾌﾞ・ﾊﾞﾝｸ) 25 家族会総会 27 地域清掃	27 避難訓練	25 世話人会議		
6	3 すまいるフェスタ 24 地域清掃	24 避難訓練 (地震)	23 世話人会議		
7	1・22 ｸﾘｰｼﾞｮﾝ(ﾄﾞﾗｲﾌﾞ) 27 エアコン清掃 29 ｸﾘｰｼﾞｮﾝ(DVD鑑賞) 29 地域清掃	29 避難訓練	21 世話人会議		
8	5 大掃除 5 ｸﾘｰｼﾞｮﾝ(DVD鑑賞) 19 ｸﾘｰｼﾞｮﾝ(ﾄﾞﾗｲﾌﾞ)		22 世話人会議		
9	9 ｸﾘｰｼﾞｮﾝ(DVD鑑賞) 9 市民体育祭(ﾌﾗｲｸﾞﾃﾞｲｽｸ) 30 地域清掃 30 ｸﾘｰｼﾞｮﾝ(ﾄﾞﾗｲﾌﾞ)	30 避難訓練	21 世話人会議		
10	14 ｸﾘｰｼﾞｮﾝ(DVD鑑賞) 21 ｸﾘｰｼﾞｮﾝ(ﾄﾞﾗｲﾌﾞ) 28 地域清掃	28 避難訓練	19 世話人会議		14 感染症研修 25 施設見学(更生病院)
11	3 たいよう祭参加 11 八代市ふれあいフェスタ参加 18 日帰り旅行(城南温泉) 24 誕生会 25 地域清掃	25 避難訓練	21 世話人会議		
12	2 ｸﾘｰｼﾞｮﾝ(ﾄﾞﾗｲﾌﾞ) 9 たいようお楽しみ交流会 16 中短ざぼん祭見学 27 餅つき会 29 地域清掃・大掃除	29 避難訓練	20 世話人会議		18 施設見学(じょうなん)
H30. 1	6 ｸﾘｰｼﾞｮﾝ(初詣) 13 ｸﾘｰｼﾞｮﾝ(鏡開き) 20 ｸﾘｰｼﾞｮﾝ(ﾄﾞﾗｲﾌﾞ) 20 誕生会 新年会 27 ｸﾘｰｼﾞｮﾝ(健康体操) 27 地域清掃	27 避難訓練  (地震)	23 世話人会議		
2	2 豆まき 17 市ふくしｽﾎﾟｰﾂ大会参加 24 地域清掃	24 避難訓練	21 世話人会議		26 施設見学(更生病院)
3	2 誕生会 3 ｸﾘｰｼﾞｮﾝ(ﾄﾞﾗｲﾌﾞ) 10 ｸﾘｰｼﾞｮﾝ(DVD鑑賞) 24 花見 31 地域清掃	31 避難訓練	22 世話人会議		23 熊本県集団指導

平成29年度 障害福祉サービス事業所 八代市立希望の里たいよう 事業報告書

1. 設置目的

常時介護を要する利用者への食事、入浴、排せつ等の介護、創作的活動又は生産活動の機会の提供その他、身体機能又は生活能力維持向上のための支援、又は、通常の事業所に雇用されることが困難な利用者への就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、その知識及び能力の向上のために必要な訓練等を行い自立した日常生活又は社会生活ができるよう支援をすることを目的とする。

2. 利用者登録状況(平成30年3月31日現在)

事業名	月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	29/1	2	3
生活介護	登録人員	13	12	12	12	11	11	11	12	12	12	12	12
	入所			1	1			1					
	退所	1			1								
就労移行支援	登録人員	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	入所						1						
	退所						1					1	
就労継続支援B型	登録人員	69	68	68	68	69	71	71	71	71	70	69	69
	入所	1		1	1	2	1					1	1
	退所	2		1			1			1	1	1	
合計		84	81	82	82	83	85	84	84	84	83	83	83

①定員77名（生活介護事業12名・就労移行支援事業10名・就労継続支援B型事業55名）

※出勤稼働率 83.9 %

②性別

事業別	男	女	計
就労移行支援	1	0	1名
就労継続支援B型	46	24	70名
生活介護	7	5	12名
合計	54	29	83名

④ 市町村別

市町村名	男	女	計
八代市	50	29	79名
氷川町			名
芦北町	3		3名
菊陽町	1		1名
合計	54	29	83名

③平均年齢(満年齢)

性別	総年齢	平均年齢
男	2,235.4	44.7
女	1,254.9	43.3
合計	3,490.3	44.0

⑤ 障害種別

	生活介護	移行支援	継続B型	計
知的	8	1	47	56名
身体	3		14	17名
精神	1		9	10名
合計	12	1	70	83名

⑥年齢別

	15~19 歳	20~24 歳	25~29 歳	30~34 歳	35~39 歳	40~49 歳	50~59 歳	60歳 以上	合計
男	1	3	9	4	3	14	10	10	54名
女		1	5	1	5	8	7	2	29名
合計	1	4	14	5	8	22	17	12	83名

3. 職員配置状況(平成30年3月31日現在)

職 種	生活介護 常勤換算後の人数	就労移行支援 常勤換算後の人数	就労継続支援B型 常勤換算後の人数	計
				職員数
管理者	1	1	1	1
サービス管理責任者	1兼務	1兼務	1兼務	2(管理者兼務)
看護師	1			1
職業指導員		1	8	9
生活支援員	1	1	1	3
就労支援員		1		1
事務員兼職業指導員	1		1	2
合 計	4	3	11	18

4. 事業実施内容(生活介護事業・就労移行支援事業・就労継続支援B型事業)

① 対象者

生活介護事業	就労移行支援事業	就労継続支援B型事業
・常時介護が必要な者で障害程度区分3以上の利用者、または年齢が50歳以上で障害程度区分2以上の者。	・一般就労を希望する65歳未満の者。利用は原則2年間。	・就労経験がある者で、年齢や体力の面で企業や就労継続支援A型等で雇用されることが困難となった者。 ・就労移行支援事業を利用した結果、就労継続支援B型の利用が妥当と判断され、企業や就労継続支援A型事業の雇用に結びつかなかった者。 ・既に50歳に達している者。

② 支援計画

支援にあたっては、利用者個々の特性、性格、能力及びその家庭環境を総合的に把握し利用者本人及び家族の要望、意見等を十分に聞き、各自一人一人に適した個別支援計画を定め計画に基づき支援に当たってきました。また、この支援計画は必要に応じて、見直しを行い支援に当たってきました。

(生活介護・就労継続支援B型は、6ヶ月に1回以上・就労移行支援は、3ヶ月に1回以上)



生活介護(生産活動)

・フルーツキャップ折・ボール・箸入れ・ビーズ

職員数	利用者数	件数	延べ日数	延べ人員	目標額	実績額
3名	12名	220件	220日	1,756人	62,000円	60,000円
作業を通じて指先等のリハビリ効果に繋がった。工賃支給により、意欲向上が図られた。						

・就労移行支援事業

(職業指導支援)

・印刷事業

職員数	利用者数	件数	延べ日数	延べ人員	目標額	実績額
3名	13名	1,120件	242日	2,331人	15,350,000円	15,447,838円
営業活動により安定的な受注に繋げ、収入増額となった。また、利用者の能力向上(取り組む姿勢、仕分け、製本他)により、作業能率が上がった。						

・パン製造・販売事業

職員数	利用者数	年間個数	延べ日数	延べ人員	パン種類	目標額	実績額
3名	9名	40,546個	243日	2,050人	50種	5,565,000円	5,581,101円
主な販路は、委託販売として、(八代市役所売店、マックスバリュ、その他)対面販売として、(各イベントへの参加、官公庁、福祉施設、学校関係、一般企業等へ)販売を展開してきた。							

・就労継続支援B型事業

(職業指導支援)

・買物カゴ洗浄事業

職員数	利用者数	個数	延べ日数	延べ人員	目標額	実績額
2名	13名	737,048個	242日	2,462人	7,922,000円	7,954,330円
九州全域からのイオン・マックスバリュ・COCOSA(新規)など、受注数(個数)の増加による。						

・公園作業

職員数	利用者数	作業場所	目標額	実績額	
3名	18名	・麦島東公園 ・水無川公園 ・末広公園 ・上片墓園 ・金剛自然観察者用駐車場	4,727,000円	4,727,060円	
・麦島東公園		作業稼働日数	165日	延べ人員	2,011人
・末広公園		作業稼働日数	116日	延べ人員	846人
・水無川公園		作業稼働日数	127日	延べ人員	1,111人
・金剛自然観察者用駐車場		作業稼働日数	100日	延べ人員	565人
・熊本総合病院駐車場		作業稼働日数	24日	延べ人員	188人
・上片墓園		作業稼働日数	114日	延べ人員	829人
・今年度、新規にて上片墓園清掃を行った。					

・軽作業

職員数	利用者数	作業種類			目標額	実績額
2名	18名	フルーツキャップ折・箱折・EMボカシ販売・ボール洗浄・シール貼り			1,556,000 円	1,546,020 円
作業種		個数	延べ日数	延べ人員	委託元	
フルーツキャップ		1,401,282個	240日	3,062人	インターナショナル・ケミカル(下請)阿蘇郡	
箱折		66,905個	40日	143人	すずきパッケージ(下請)八代市	
箱製缶		90,780個	182日	701人	中川パッケージ(下請)八代市	
ボール洗浄		60,000個	21日	177人	(株)モードテラ(下請)東京都	
EMボカシ製造・販売		2,171個	20日	69人	自主製品	
シール貼り		45,063枚	34日	96人	西田精麦(株)	
保護メガネ		4,400枚	4日	11人	八代合同花火競技大会実行委員会	
トマト箱折り		37,103枚	69日	282人	熊本青果物出荷組合	
重度者向けの作業種目として位置付けて実施してきた。全員が協力し作業を行った結果、目標額に近づけることができた。新規作業として、熊本青果物出荷組合のトマト箱折り(時期あり)を行った。						

③ 利用者月額平均工賃

(全体の平均)

生活介護 12名	就労移行 1名	就労B型事業 65名	一人当たりの月額平均工賃
3,483 円	16,790 円	16,222 円	14,388 円

5. 移行支援事業 就労基本訓練

・期日 毎週火・木曜日 ・時間 15:30~16:00 ・対象者 1名 指導者 2名	・就労への意識付け ・挨拶の重要性について ・パソコンに関する知識の向上	・就職に必要な心構えについて ・履歴書の書き方
--------------------------------------------------	--------------------------------------------	----------------------------

以上の就労基本訓練を行った。

6. 送迎サービス

たいよう送迎利用者			徒歩	自転車	自家用車送迎	自家用車	バイク
コース	車種	人員					
南廻り(郡築方面)	リフト付きマイクロバス	16名	4名	16名	8名	2名	1名
北廻り	29人乗りマイクロバス	16名					
鏡町廻り	8人乗りワゴン	5名					
坂本廻り	4人乗りワゴン	4名(2回)					
日奈久廻り	4人乗りワゴン	3名					
金剛廻り	8人乗りワゴン	8名					
計	6台	52名	4名	16名	8名	2名	1名
合計	83名						

※送迎支援を実施した結果

- ・利用者定員の確保に繋がった。
- ・出退勤時の交通事故防止に繋がった。

## 7. 日常生活支援

- ・基本的な生活(挨拶、身だしなみ、清潔等)金銭管理、交通安全等の支援
- ・自立するための段階的な支援
- ・利用者間のトラブルの未然防止に努める。(意見箱設置、口頭による意見要望)
- ・利用者の悩み、問題等への相談支援を行ってきた。

## 8. 健康管理

- ・毎月1回の身体測定(身長、体重、血圧、体温)年一回の健康診断の実施
- ・毎朝、体操の支援、健康状態の把握に努めた。

## 9. 地域との交流

- ①第8回たいよう祭開催(11月3日文化の日) 約500名の来場者を得られた。
- ②高田小学校、中学校との実習を含めた交流、職場見学等を行った。
- ③中九州短期大学ざぼん祭へ参加し、パン販売も出店した。
- ④毎月1回施設周辺の清掃を行った。(ゴミ拾い、空き缶拾い、草取り)
- ⑤千の穂さんと共同で、施設に隣接する歩道と花壇の清掃を実施した。

## 10. 支援結果

### (1)生活介護事業

- ・食事、入浴、トイレ介助は、利用者に合わせ個別支援を行った。
- ・軽運動

嘱託医の指導により平行棒を使った歩行訓練、バランスボールでの平行感覚等を個々に合わせた機能維持訓練を行った結果、①肥満傾向にあった利用者が減量できた。②歩行が困難な利用者の下肢の強化に繋がった。

- ・学習活動、創作活動

- ① 数字、文字等繰り返し学習することで少しずつ習得されてきた。
- ② 余暇活動では、ドライブ等で季節感を養うことができた。

- ・重度の利用者(区分5)に対しては、職員を増員し、1対1での対応を行った。

### (2)就労移行支援事業

#### ①パン製造・販売

- ・利用者各々が作業に対して責任感が出てきている。
- ・パン販売をとおして、接客、電卓、レジ等の技術向上に繋がった。
- ・毎日、朝礼時に挨拶・接客時の声だし訓練(いらっしやいませ・ありがとうございました)を行うことで全員が大きな声でいえるようになってきた。
- ・作業を通じて勤労意欲が身についてきた。

#### ②印刷作業

- ・印刷関連機器(パソコン、製本機、リ付け機、計数機)の操作について利用者の技術向上がみられる。
- ・切り取り線入れについては、支援を必要とせず利用者一人で行うことができるようになった。
- ・指導により作業上で使用する数字の把握ができるようになってきた。
- ・全体的に利用者の自主性、集中力、忍耐力、持続力等が身についた。又、作業技術の向上に繋がった。
- ・作業を通じて勤労意欲が身についてきた。

### (3) 就労継続支援B型事業

#### ① 買物カゴ洗浄作業

- ・利用者が作業を幅広くできるようになるため作業配置の交代制を導入した結果、全体的に作業技術の向上に繋がった。
- ・毎日の朝礼、終礼時に挨拶や返事の重要性について強調した結果、自らの大きな声で挨拶と返事が言えるように成長に繋がった。
- ・何事にも自主的に行動に移せるようになってきた。
- ・持続性、協調性について身につけてきた。
- ・作業を通じて勤労意欲が身につけてきた。

#### ② 公園作業

- ・個別指導により、利用者の草刈り機、芝刈り機等の操作技術が向上に繋がった。
- ・作業を通じて協調性、忍耐力が養われてきた
- ・作業を通じて勤労意欲が身につけてきたと

#### ③ 軽作業、

- ・挨拶、返事が積極的に大きな声で言えるようになってきた。
- ・フルーツキャップ折、箱折り、カート清掃、ボカシ製造等を通して、勤労意欲が高まり、同時に協調性、持続性が身につけてきた。又手先等の機能回復に繋がった。
- ・作業を通じて勤労意欲が身につけてきた。
- ・自閉的傾向の利用者が(足、頭、鼻等を石鹸で必要以上に洗い、泡だらけになっている状況があった)、職員が連携した取り組みにより改善ができたが、注意観察が必要である。

### (4) 一般就労移行者(就職)

#### 就労移行支援事業

事業名	氏名	性別	年齢	採用日	就職先
就労移行支援事業					
	該当者無				

#### 就労継続支援B型事業

事業名	氏名	性別	年齢	採用日	就職先
就労継続支援B型事業					
	該当者無				

平成 29 年度 行 事 実 施 表

(八代市立希望の里たいよう)

月別	行事関係	防災対策	施設管理	作業実習生関係	交流	研修会関係
4	3-7利用者体調週間 10 就労移行勉強会 15 レクリエーション(ドライブ) 22 家族会総会 22 レクリエーション(DVD鑑賞) 25 就労移行勉強会	28 避難訓練	5 臨時職員会議 17 就労移行会議 18 生活介護会議 19 就労B型会議 20 職員会議	17, 19, 20, 21 体験利用 1名 17, 19, 20, 24 体験利用 1名 17, 18, 19, 20 体験利用 1名 27 体験利用 1名	11 高田小学校入学式参加 11 施設見学 かんね2名 13 地域清掃 20 施設見学 結2名	14 すまいるフェスタ運営委員会 1名 21 城南ブロック施設長会 1名 28 県施設協会施設長会 1名
5	2 バン作業余暇活動(映画鑑賞) 8-12 利用者体調週間 8 就労移行勉強会 13 レクリエーション(DVD鑑賞) 20 レクリエーション(ドライブ) 27 レクリエーション(ベタンク)	29 避難訓練	15 就労移行会議 16 生活介護会議 17 就労B型会議 19 職員会議	8, 9 体験利用 1名 22, 23, 24 体験利用 1名 29-6/1, 2 体験利用 1名	11 地域清掃 18 施設見学 菊愛会2名 26 施設見学 高田病院3名	2 市いきいきふくしスポーツ大会会議 1名 17 すまいるフェスタ会議 2名 18 県施設協会評議員会 1名 24 福祉職員ビジネスマナー研修会 3名 30 就労ネットワーク会議 2名 31 県社会就労センター施設長会 1名
6	1, 2 利用者特定健診(40歳以上) 3 すまいるフェスタ2017(人吉市) 5-9 利用者体調週間 5 就労移行勉強会 19 就労移行勉強会 28 たいよう内部研修(食中毒)	28 避難訓練	12 生活介護会議 14 就労B型会議 15 就労移行会議 21 職員会議	29-6/1, 2 体験利用 1名 14 八代支援学校 2名 12-23 松橋西支援学校 1名 12-27 中九州短大 2名	9 地域清掃 9 施設見学 市民生員7名 20 施設見学 市支援学校13名 27 施設見学 更生病院3名 28 施設見学 かんね2名	1 中九州短大実習受入説明会 1名
7	1 レクリエーション(ドライブ) 3-7 利用者体調週間 4 台風の為閉所 10 就労移行勉強会 18 たいよう内部研修(熱中症予防) 22 レクリエーション(ドライブ) 24 就労移行勉強会 29 レクリエーション(DVD鑑賞)	26 避難訓練	12 就労移行会議 14 生活介護会議 19 就労B型会議 20 職員会議		7 地域清掃 31 施設見学 松西支援学校5名	4 人権問題に関する事業主研修会 2名 5 すまいるフェスタ反省会 2名 11 施設協会体育担当者会議 2名 25, 26 初任者キャリアアップ研修 3名
8	5 レクリエーション(DVD鑑賞) 7 台風の為閉所 8-10 利用者体調週間 14 就労移行勉強会 19 レクリエーション(ドライブ) 28, 29 利用者特定健診(40歳以下) 28 就労移行勉強会	29 避難訓練	10 就労移行会議 16 生活介護会議 17 就労B型会議 22 職員会議	1-3 八代清流高校 1名 14 八代中学校 1名 21-9/5 中九州短大 4名 8, 9, 10 体験利用 1名 30 体験利用 1名	1 施設見学 あじさい+2名 2 施設見学 高田病院2名 9 地域清掃 22 施設見学 松西支援学校6名 22 施設見学 菊愛会2名 29 施設見学 松西支援学校5名	1 就労ネットワーク会議 2名 1 地域ケア会議(児童) 1名 2 人権同和教育夏季現地研修 1名
9	4-8 利用者体調週間 9 レクリエーション(DVD鑑賞) 9 八代市民体育祭参加(フライングデイズ) 11 就労移行勉強会 29 就労移行勉強会 30 レクリエーション(ドライブ)	27 消防総合訓練	11 就労移行会議 12 生活介護会議 13 就労B型会議 21 職員会議	21-9/5 中九州短大 4名 13 体験利用 1名 4-6 中九州短大 1名	2 学生と福祉施設職員との 座談会(八代農業高校他) 6 地域清掃	20 県施設協会施設長連絡会 1名 22 ふれあいフェスタ会議 1名 25 食育向上計画支援研修会 2名 26 社会福祉法人労務研修会 2名 26 就労ネットワーク会議 2名
10	2-6 利用者体調週間 4 木下大サーカス見学 14 たいよう内部研修(感染症) 14 レクリエーション(DVD鑑賞) 16 木下大サーカス見学 21 レクリエーション(ドライブ) 23 就労移行勉強会	26 避難訓練	10 生活介護会議 11 就労B型会議 12 就労移行会議 19 職員会議	16-27 松橋支援学校 1名	4 地域清掃 11 美化運動(千の穂合同) 17 施設見学 市民生員12名	17 食品衛生講習会 1名
11	3 第8回たいよう祭 4 八代学園ふれあい祭参加 6-10 利用者体調週間 11 ふれあいフェスタ参加 13 就労移行勉強会 27 就労移行勉強会	28 避難訓練	15 就労B型会議 16 生活介護会議 19 就労移行会議 21 職員会議	6-17 松橋西支援学校 1名 9, 10 体験利用 1名 21, 24, 28, 30 体験利用 1名	8 地域清掃 8 美化運動(千の穂合同) 9 施設見学 すまいる4名 20 施設見学 高田小2年30名 22 施設見学 市支援学校6名	21 ノロウイルス食中毒予防研修会 2名 24 福祉サービス苦情解決研修会 2名 27 福祉車両安全運転講習会 3名
12	2 レクリエーション(ドライブ) 4-8 利用者体調週間 9 お楽しみ交流会(保護者合同) 11 就労移行勉強会 16 中九州短大さぼん祭見学 25 社会科見学(パン班:熊本市方面) 25 就労移行勉強会 27 餅つき会 28 大掃除・利用者仕事納め	28 避難訓練	12 生活介護会議 13 就労B型会議 14 就労移行会議 21 職員会議		6 施設見学 菊愛会2名 7 地域清掃 7 美化運動(千の穂合同) 21 施設見学 大津支援学校3名	3-4 県施設協会50周年式典 6名 7 中九州短大実習受入説明会 1名 13 県社会就労センター施設長会 1名 18 障がい者就労支援セミナー 3名 20 城南ブロック施設長会 1名 26 サービス管理責任者研修会 1名
H30.1	4 仕事始め 6 レクリエーション(初詣) 9-12 利用者体調週間 13 レクリエーション(鏡開き) 20 レクリエーション(ドライブ) 22 就労移行勉強会 27 レクリエーション(健康体操)	29 避難訓練	17 就労B型会議 18 生活介護会議 19 就労移行会議 23 職員会議	16-17 大津支援学校 1名 29-2/2 体験利用 1名 29-2/2 体験利用 1名	10 地域清掃 17 施設見学 オウゴン2名 22 施設見学 かんね2名	30 就労ネットワーク会議 3名
2	2 豆まき 5-9 利用者体調週間 17 いきいきふくしスポーツ大会参加 21 交通安全教室	26 避難訓練(水害)	14 就労B型会議 16 生活介護会議 16 就労移行会議 21 職員会議	5-21 中九州短大 4名 26-3/13 中九州短大 2名	6 施設見学 ワクショウ3名 14 地域清掃 14 美化運動(千の穂合同)	6 松橋西支援学校授業見学 1名 8-9 サービス管理責任者研修会 1名 15-16 サービス管理責任者研修会 1名 22 苦情解決第三者委員研修会 1名
3	3 レクリエーション(ドライブ) 5-9 利用者体調週間 8 社会科見学(軽作業班:熊本市方面) 9 社会科見学(公園作業班:熊本市方面) 10 レクリエーション(DVD鑑賞) 16 社会科見学(カゴ班:鹿児島方面) 19 社会科見学(生活班:熊本市方面)	22 消防総合訓練	14 生活介護会議 14 就労移行会議 15 就労B型会議 22 職員会議	2/26-3/13 中九州短大 2名 3/19-4/4 中九州短大 3名 22-26 体験利用 1名	7 施設見学 すまいる2名 7 施設見学 あじさい+2名 7 地域清掃 9 八代支援学校卒業式出席 29 施設見学 結3名	1 会計実務研修会 2名 5 県障害者虐待防止権利擁護研修 1名 13 県社会就労センター施設長会 1名 15-16 サービス管理責任者研修会 1名 19 県施設協会評議員会 2名 19 県施設協会職種別部会 2名 20 熊本県集団指導(生活介護) 2名 23 熊本県集団指導(就労) 2名
合計				体験実習件数 31件 体験実習延べ人数 45名	交流団体件数 30件 交流者延べ人数 127名	